

校長室だより

No. 23

平成 27 年 10 月 16 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

○ J T ー学芸会の練習は担任以外もかかわりながらー

「教員になって初めて学芸会に取り組む」という先生がいたとしたら、皆さんは驚かれるのでしょうか。前に少し書きましたが、総合的な学習の時間が導入された関係で（今から10年以上前から）、このあたりでも「学習発表会で総合の発表をされていて、学芸会（音楽・劇）は経験していない」という人がいると思います。昨年、市内の初任者研修を受けていた先生方に『学芸会』というものを見たことも聞いたこともない方がきつといらっしゃいますよね。手を挙げ



てもらえますか」と聞いたところ、約80人中2人が手を挙げました。私たちが当たり前だと思っていることが、当たり前ではないことがよくあります。（各県民の秘密を紹介するTV番組が人気なもの、意外性の面白さでしょうか）

少し話が変わりますが、私たちは大学で教職課程の講義等を受け、教員採用試験を経て教員になっています。しかし、大学で「学芸会の指導の仕方」なんて講義はまずありません。では、私たちはどうやって学芸会の指導をしていくか。それは、ほぼ教員になってからの独学とってよいと思います。もちろん、学生時代に演劇や音楽に関心があり、サークルなどで取り組んだ経験のある人もいます。しかし、多くはそんな経験はありません。ですから過去の学芸会の記録やビデオを見たり、自身で演劇を見に行ったり、先輩の指導しているところをこっそり見て学ぶといったことで、学芸会に臨む場合が多いでしょう。

今でこそ明かしますが、自分も初めて小学校へ赴任し、6年生を担当した時の学芸会はドキドキでした。映画や舞台でいう、監督・脚本・音楽・大道具・演技指導等をすべて担任一人で行うので、中学校勤務が長かった私には大きな不安でした。「○年生はどんな題材がよいのか」「台本はどうやって作るのか」

「係はどんな係を作ればよいか」「効果音やBGMはみんなどこから探してきているのか」「配役をきめるときには、どんな配慮をしているのか」「大道具・小道具・衣装はどうやって準備しているのか」「どんな演技をさせることが学芸会としてよいのか」「どんな指導をすれば、子供のセリフや演技はよくなるのか」「数人しかいない場面の練習では、他の子供をどうしておくか」等々、悩みが

次から次へと出てきます。さらに校内学芸会間近の頃、ある4年生の劇を見て、その子供の演技力に圧倒され、自信を大きく無くしたものでした。

今回、この学芸会の練習を進めるなかで、次のような記録を書いていた先生の文に目がとまりました。

【A先生の記録より】

学芸会の練習が始まり、自分で指導しながらB先生やC先生の指導の仕方も見ることができ、とても勉強になる。

リコーダーは、（音を出す時に出だしをそろえる指導をするのでなく）息を吸う瞬間をそろえると出だしがそろって、それだけ全体のレベルが上がった。指揮のふり方ひとつで子供の力を引き出すところも大変勉強になった。

C先生も子供への確かな指示を出す。「〇〇〇だから、こうしたほうがいいよ。」という子供も納得していた。子供と一緒に勉強しながら学芸会の練習をしていきたい。



これは、本校のA先生が、同じ学年の先生や担任以外の先生と一緒に学芸会の指導をした後の記録です。私たちの研修は、校外へ出て研修を行うものや校内で研究授業を行うなどの研修もありますが、先輩教員や得意な分野のある教員が、その場で一緒に仕事をしながら、周りの教員に意味や技術を伝えたり情報交換をしたりして、教員としての力量を高めていくことが多くあります。こうした研修の手法をOJT（On-the-Job Training）と呼び、企業でよく行われていると聞きます。A先生は、学芸会の練習を通して、音楽の指導法や子供の指導のあり方を勉強したと話してくれました。

六ツ美中部小学校では、担任以外の先生が指導に参加することがよくあり、ごく自然にOJTが展開されています。経験値のウエイトが大きい取り組みは、今後もできればOJTを大切にし、教員の力量を高めることで、子供の教育の向上と幸せにつないでいきたいと思えます。

11月18日（水） 「県内一斉ノー残業デー」に取り組みます

愛知県は「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 2015」と題し、仕事と生活の調和した社会の実現に向け、様々な取り組みをしています。そのひとつに、11月18日（水）の「県内一斉ノー残業デー」があり、職員は定時退庁（退社）をする取り組みです。本校も、この取り組みを行う予定です。

職員の勤務終了時刻は、16時45分です。御理解ください。